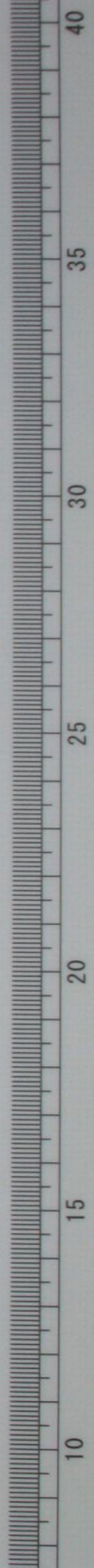




新編
塵劫記

寛永三年頃

小倉文庫
イ 16
44



鐘音百八人間 福祿深 抽感志備全社



新編塵劫記 目錄

- 第一 梅子たぐいの事
- 第二 梅の入目を町中へとりかへる事
- 第三 立木たぐいをも移る事
- 第四 町はりの事
- 第五 縁ずきさんの事
- 第六 ひみくごさんの事
- 第七 日本國中男女の殺乃事
- 第八 梅をさんとの事
- 第九 梅一たんの立ぬきの系を移る事
- 第十 きぬぬき人の事
- 第十一 あがりの事
- 第十二 金銀子敷を用立ててはりの事

何日本國中男女の殺乃事
百六の堂へ系を移る



第十三 百々事の事
 第十四 やうき事
 第十五 ざうき事
 第十六 六里の道を中へして三正の事
 第十七 三人の事
 第十八 百万の人数をあつて見る事
 第十九 開平法の圖の事
 第二十 開平法の圖の事
 第二十一 開立法國の事

第一

ゆづり子だての事

▲子ぶる内十人の先服はまゝの事
 の子也右のこゝをあらうて十ふあつたの
 けて又正あたるものけは九ふあつたのけては
 ろふ人よあつたゆづり子と云ふ事母あつた
 くまたる事かゝる先服はまゝの事
 かしめ今たひかゞる先服の子みあつた
 しゆゑを人あつたゆづり子の事
 の二娘あつたゆづり子の事
 子らかゞる先服はまゝの事先服の子を人の
 こゝろあつたゆづり子の事

第二

橋の換る事

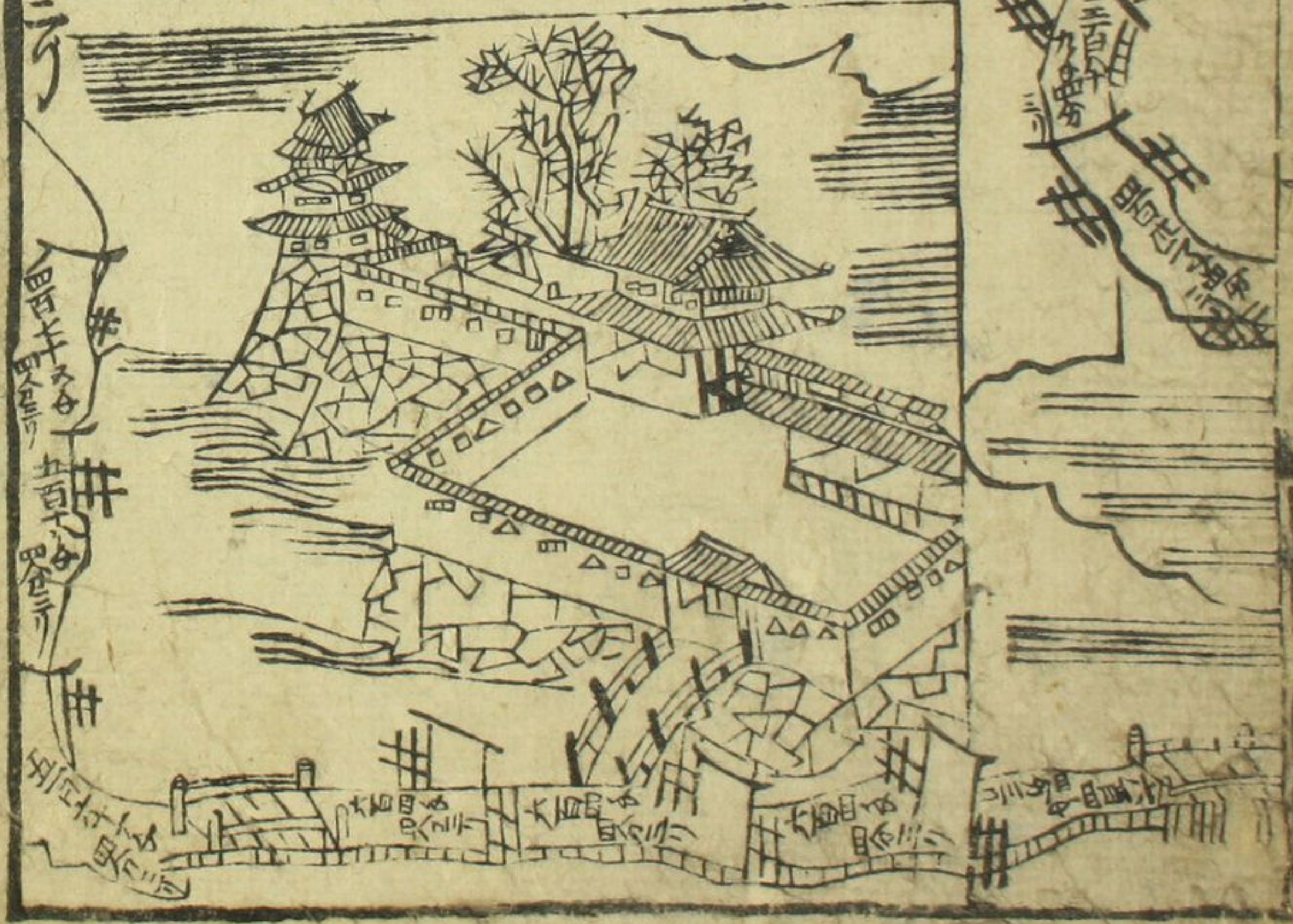
何れもあつたゆづり子の事
 是れ自らあつたゆづり子の事



目...
 時...
 ひ...
 町...
 町...
 よ...
 三...
 三...

法...
三...
三...
三...

法...
 九...
 九...
 九...
 九...
 九...
 九...



第三

たら...
 一...
 一...
 一...
 一...

一...
 一...



一...
 一...
 一...
 一...
 一...



三分九厘 小町三万九千九百六分

三分九厘 一町六千六百六分

三分九厘 一町六千九百三十分

三分九厘 一町六千七百三十分

右の町は... 一丈の物あり... して山乃ら... といふ時... といふ時... といふ時...

第五 糸すまごんの事

三月小糸... 小糸の事... 糸すまごんの事... 糸すまごんの事... 糸すまごんの事...

正月

父 母



二月

あやた本

廿七十一
廿八十二



三月

あやた本
廿八十三
廿八十四
廿八十五
廿八十六
廿八十七
廿八十八
廿八十九
廿九十

四月小

卯子九百十六也

五月小

辰子八百二十五也

六月小

巳子七百二十五也

七月小

午子六百二十五也

八月小

未子五百二十五也

九月小

申子四百二十五也

十月小

酉子三百二十五也

十一月小

戌子二百二十五也

十二月小

亥子一百二十五也

法小終... 卯子九百十六也

卯子九百十六也... 卯子九百十六也

卯子九百十六也... 卯子九百十六也

卯子

卯子九百十六也... 卯子九百十六也

卯子九百十六也... 卯子九百十六也

卯子九百十六也... 卯子九百十六也

卯子九百十六也... 卯子九百十六也

卯子九百十六也... 卯子九百十六也

卯子九百十六也... 卯子九百十六也

▲米一斗とひめててふおしむ日おのほりてぬるゝとて時お

又万三子六百八拾七万九百拾粒めぬらふ

但一俵に六万粒入つりおしめてふよなりてゝとて時三

合八拾九石四斗七升八合五分六勺三撮三圭三粟三

▲大豆二粒をひめててふおしめて時おふふなりてぬるゝと

いし時お穀おとて同お也但一束おぬり粒入とて時お

子七拾三石七斗四升一合五分四撮おぬらふ

▲苡子一粒をひめて一俵おしめて時おぬらふぬらふとて子

ぬ俵三子六百八拾七万九百拾粒めぬらふ

但一俵に六万粒入つりおしめてふよなりてゝとて時三

合八拾九石四斗七升八合五分六勺三撮三圭三粟三

法お一粒をひめててふおしめて時おぬらふぬらふとて子

いし時お穀おとて同お也但一束おぬり粒入とて時お

一俵おに百万粒入とて一分は粒のぬらふぬらふとて二十日おぬらふ六万

六拾石おふかぬれぬ一俵おに百万粒入とてぬらふ

▲苡子一粒をひめて一俵おしめて二十日おぬらふ

合五石六斗九升九合九分九厘九毫九絲九忽九微九纖九塵九沙九塵九

右を俵おぬらふとて

百四拾万七千三百七拾石四斗七升八合五分六勺三撮三圭三粟三

右を俵おぬらふとて

合八拾九石四斗七升八合五分六勺三撮三圭三粟三

上をこもるも右同おぬらふとて也

▲苡子一粒をひめて一俵おしめて二十日おぬらふ

合五石六斗九升九合九分九厘九毫九絲九忽九微九纖九塵九沙九塵九

右を俵おぬらふとて

合八拾九石四斗七升八合五分六勺三撮三圭三粟三

一町とらふ

一町とらふ

一町とらふ

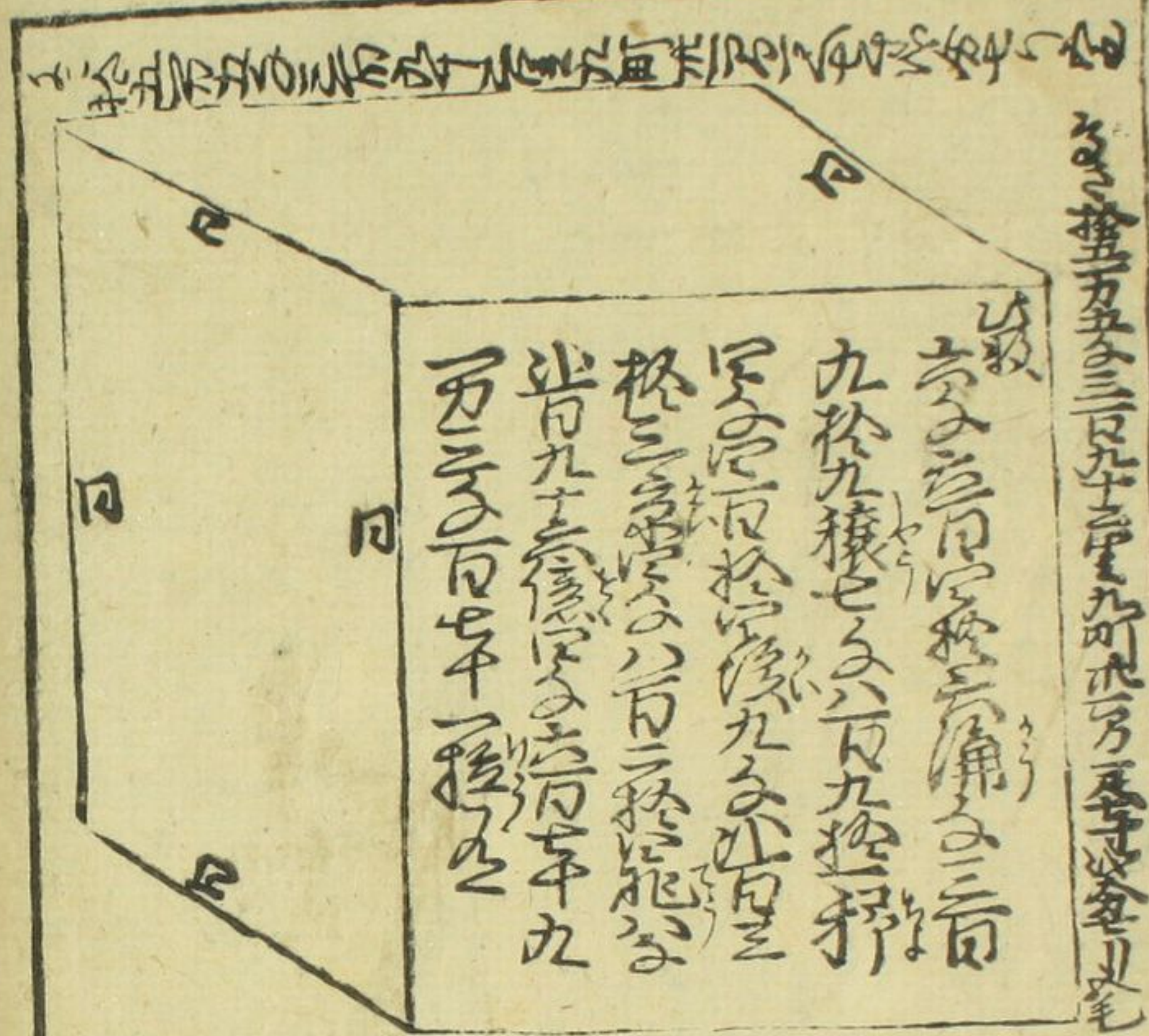
一町とらふ

六斗とらふ

六斗とらふ

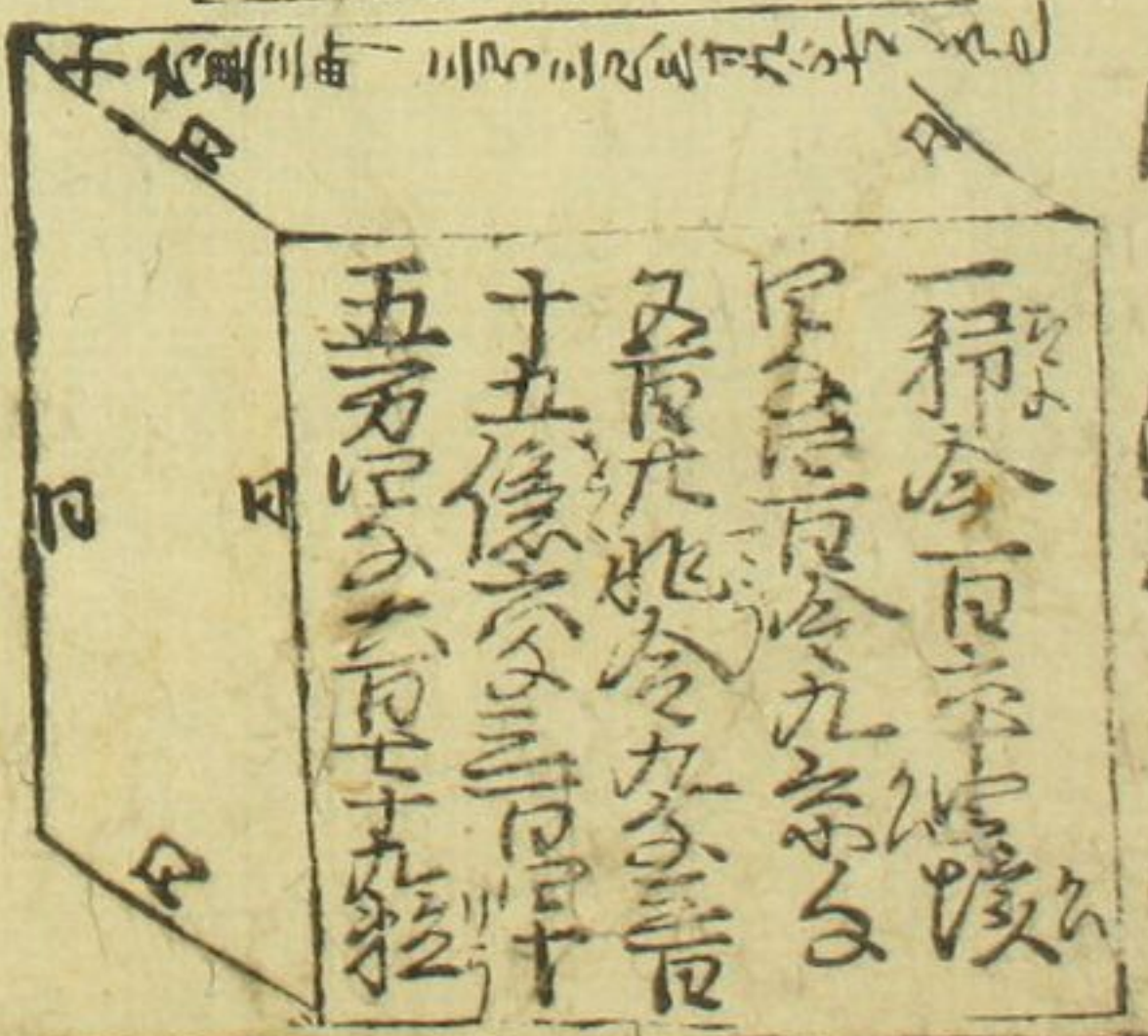
六斗とらふ

六斗とらふ



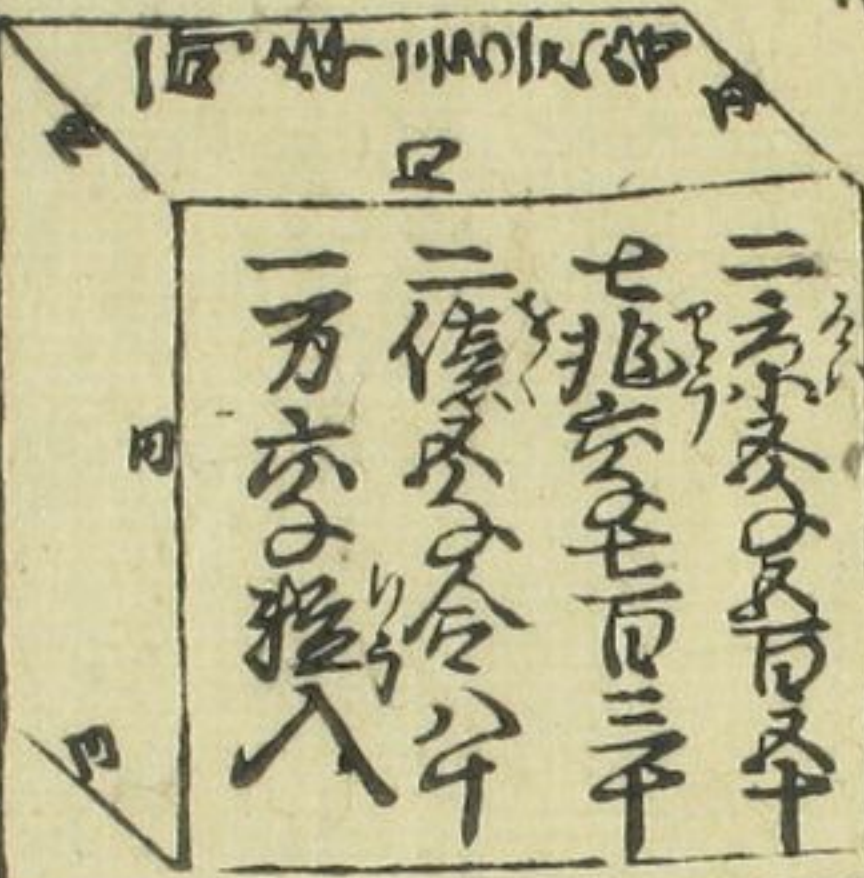
一斗九升七合九勺九撮九粒

一斗九升七合九勺九撮九粒
九拾九種七ふ六九拾種
尺の二尺拾寸後九ふ八尺
拾三寸後八ふ九尺拾二寸
出九尺後八ふ六尺九寸
五尺二寸七寸一拾二寸



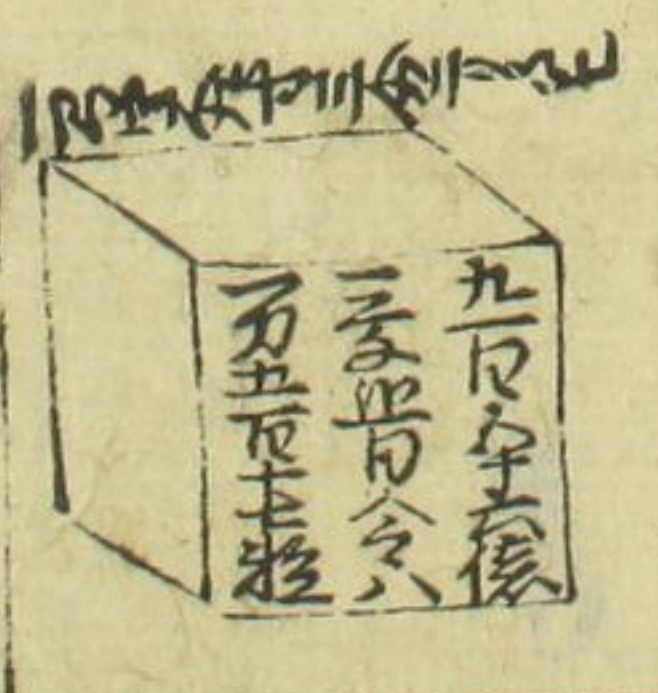
一斗九升七合九勺九撮九粒

右の余り用之法
一斗九升七合九勺九撮九粒
尺の二尺拾寸後九ふ八尺
拾三寸後八ふ九尺拾二寸
出九尺後八ふ六尺九寸
五尺二寸七寸一拾二寸



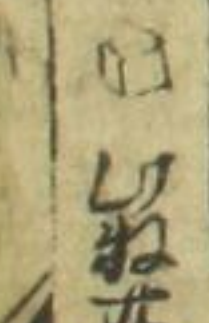
右の余り用之法

一斗九升七合九勺九撮九粒



右の余り用之法
一斗九升七合九勺九撮九粒
尺の二尺拾寸後九ふ八尺
拾三寸後八ふ九尺拾二寸
出九尺後八ふ六尺九寸
五尺二寸七寸一拾二寸

右の余り用之法
一斗九升七合九勺九撮九粒
尺の二尺拾寸後九ふ八尺
拾三寸後八ふ九尺拾二寸
出九尺後八ふ六尺九寸
五尺二寸七寸一拾二寸



▲たゞて故子一粒を百世のあひびきよくしんしの教を百
里四方の衆あつてしんりてしんれん

三億を又百世四方の百令聖聖九録七人三言を九録三聖聖

右へ心持めくする事一ふか。可くもく者也

【才七】

日本國中一男めく教務事

▲男教の合松九億九千万子百七人ありとの也但信の
妻の信ありて十方と信とつてしんれん

▲女教の合松九億四千万子百七人ありとの也。男男女
合松八億九千万子百四十八人

人まふて一日の中何れとらふ。此方の子は百九松は石中神也其あり

▲又一年の百あふりしんりてしんりて。此方の子は百九松は石中神也其あり

▲右へ人教の百あふりしんりて。此方の子は百九松は石中神也其あり

松町北の百あふりしんりて。此方の子は百九松は石中神也其あり

法立坪おしんりて。此方の子は百九松は石中神也其あり
合松十一人あつてしんりて。此方の子は百九松は石中神也其あり
てしんれん。合松八千万九八六九とぬげしんりて。此方の子は百九松は石中神也其あり
能あつてしんりて。此方の子は百九松は石中神也其あり
しんれん。此方の子は百九松は石中神也其あり

▲日本國中松六ヶ所の衆凡百子方石の衆りりあり

てしんれん。此方の子は百九松は石中神也其あり
あふりてしんりて。此方の子は百九松は石中神也其あり
きどしんりて。此方の子は百九松は石中神也其あり

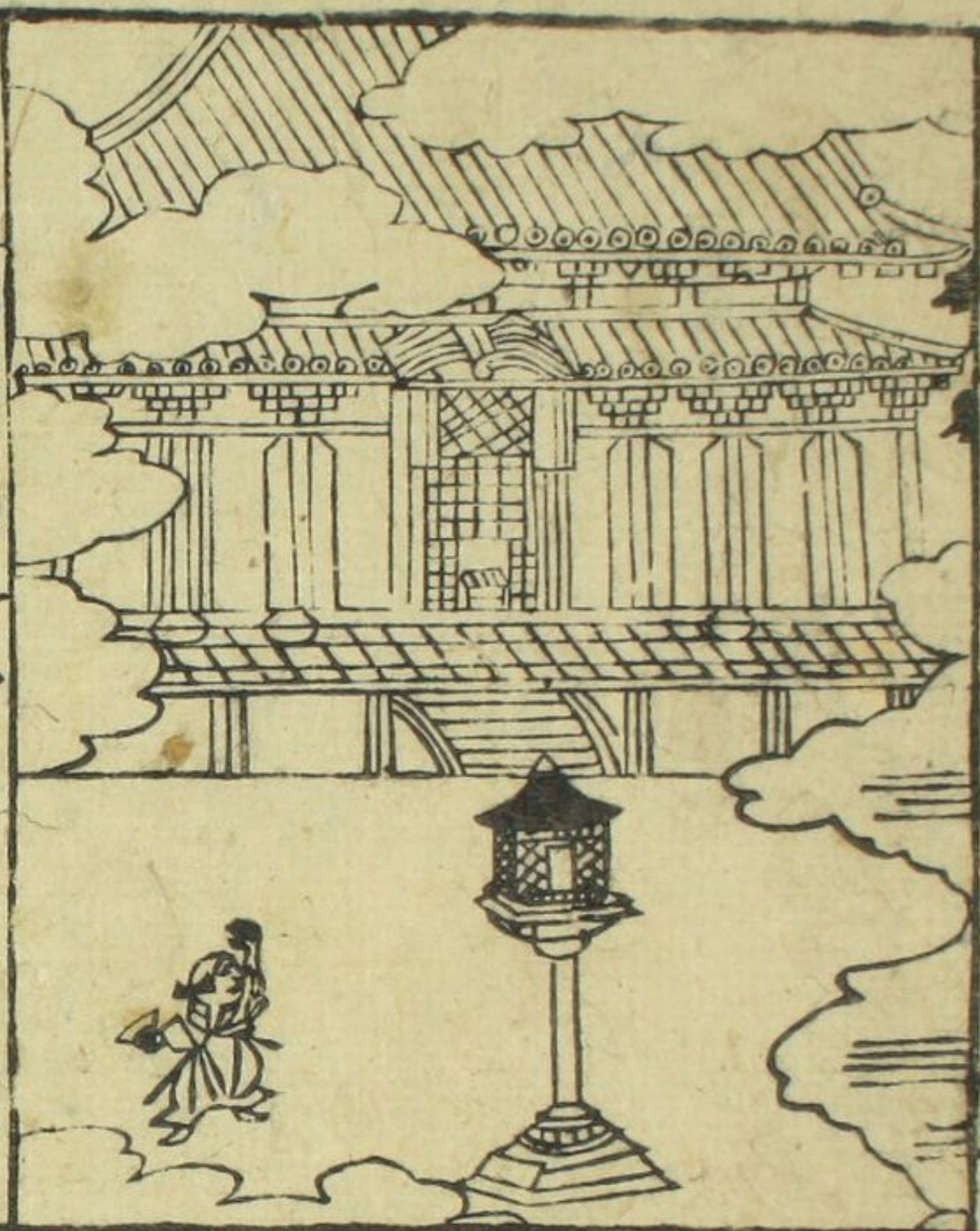
松三町北也

田町のり



徳切

大佛の堂ふ米と入し時人物を入ると同時に
七万七千五百石入るとも也



第九 ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと

ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと

第十 かくとけん事
かくとけん事
かくとけん事

かくとけん事
かくとけん事
かくとけん事



第十 ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと

ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと



第十一 ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと

ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと
ぬのたれおぬのつと

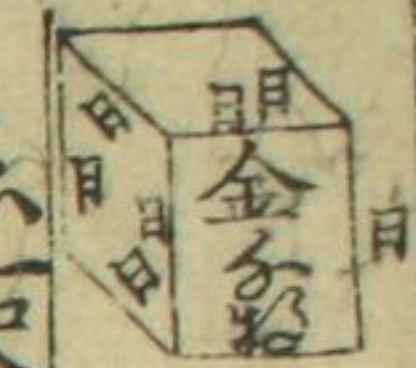


糸十二

金千枚を円は法中二面方六面めてあひかり

あひかりのふ時よ

六寸三分をりき毛ぬぬ方六面也



長一尺四寸

金千枚

金千枚のありき法中二面方六面めてあひかり
これの二寸は方の半は百五寸を降定分ゆり八毛又
七忽とぬぬれと用立法中二面方六面めてあひかり

あつ厚六分

あつ厚



銀五寸首

長一尺六寸

六寸七分はり七毛四方也

糸十三

百五寸あんのふ事

▲むらりくとせきかつと云事あり先七寸は時三
はらと云又むらりむらりと云事あり三寸は時三は

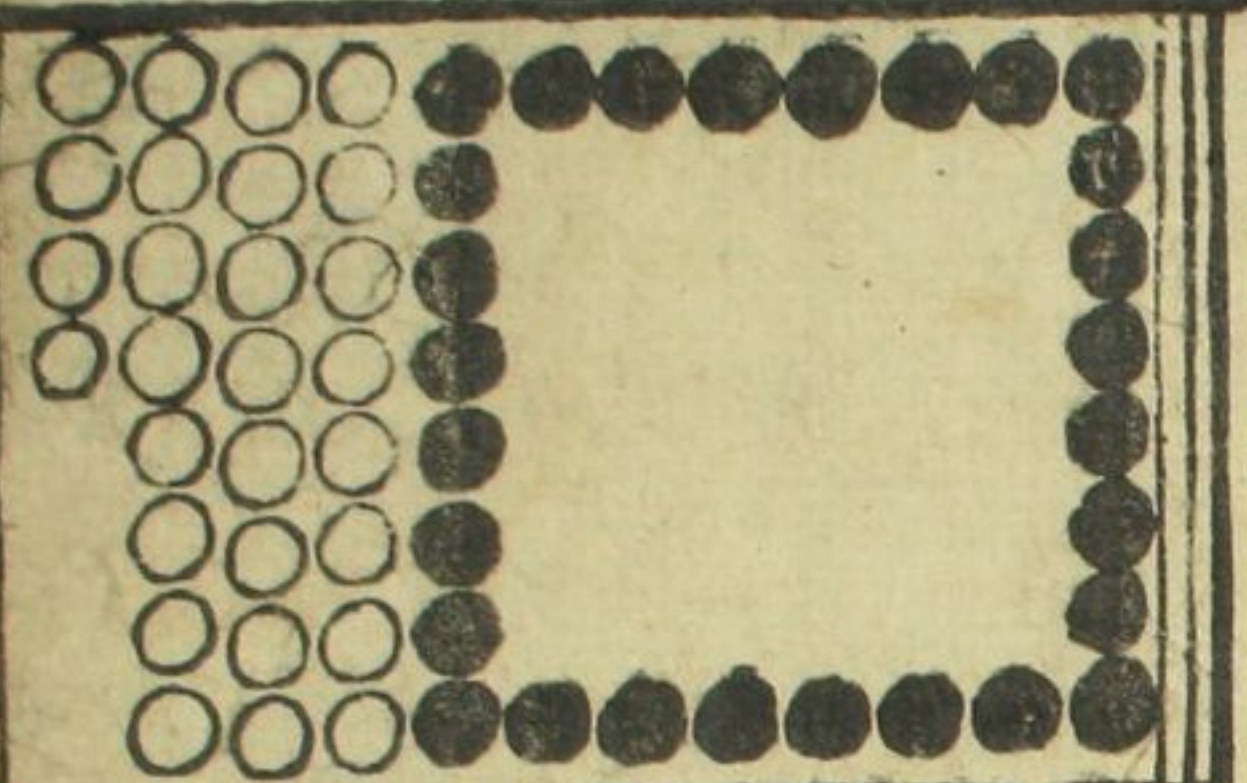
と云時おびせむらりむらりをせきせき枚数をあつ **物教八松**あり

と云のふあり ○先七寸は時の中二寸とす又七寸のふ人用ふ
成とおびせ又むらりむらりの中二寸と入てせき又三寸の時
とを二寸とせしむのふ人用ふて百は松入て三は合百九松

と云時おびせむらりむらりをせきせき枚数をあつ **物教八松**あり
と云のふあり ○先七寸は時の中二寸とす又七寸のふ人用ふ
成とおびせ又むらりむらりの中二寸と入てせき又三寸の時
とを二寸とせしむのふ人用ふて百は松入て三は合百九松

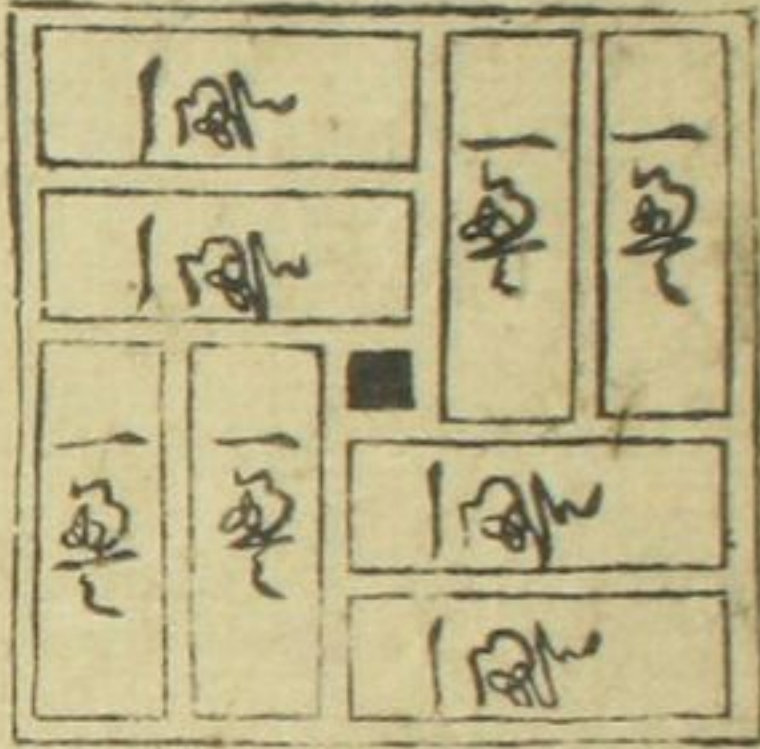
糸十四

せき一めんは事



▲かくれとくは方おあへて一方八寸を
時二一方のふらとハ其中の三三方と云
て又ハハはあへてはれはるたははは
と云むらりむらりせきせき枚数をあつ **物教八松**あり
法小半一はと云むらりの中二寸と入てせき又三寸の時
とを二寸とせしむのふ人用ふて百は松入て三は合百九松
と云時おびせむらりむらりをせきせき枚数をあつ **物教八松**あり

八重巻ののぼ
巻よ申ふら
つとあまて
たこのす
くも



十一尊
一尊の半
いりりを入
まらりげこ



第十四

六甲とみらとて馬三ひ
 せいのりあひする時あつらはれしよ
 一人もふらつらるる道とわかれし三六
 甲中つりのつららりせんらりあは
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり



三甲のりあひする時あつらはれしよ
 一人もふらつらるる道とわかれし三六
 甲中つりのつららりせんらりあは
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり

第十五

又三人とて
 くらりを月おれらつてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり
 一人はふらつらるるのりてあはるあり



第十八

百万方縁の人敷を尋る

ふみんつきてもさあふれとて
くそとりのあつふあつとるひ

亦百三核老里於七町正百ありひ

○モろハ六尺又守の流りりあり

○モ阿ハ六十名の流りりあり

○モ里ハ六町の流りりあり

先百万人をいふてしれぬ方

あはれをいふてしれぬ方三百

三於三町九百ありを二核六町

あてしれぬ長里百三核老里於七町

中千方とある也

大百万人敷二とよりよあて

いふよをいふてしれぬあつふ

百於五里正百ありよりやういふのそいふは法いふ心也



第十九

剛平法を商実法より除き事

△は老万冬子百九九坪五

二をいふ方ふありてい

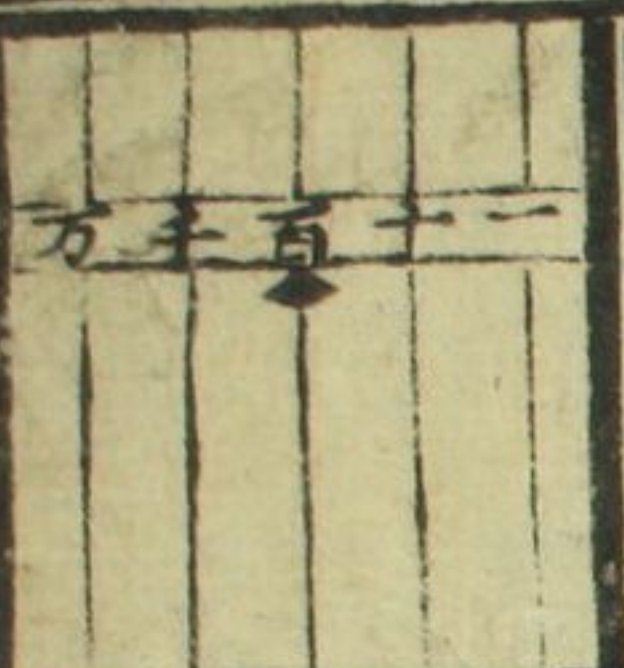
あふれとあはれと

いふあ

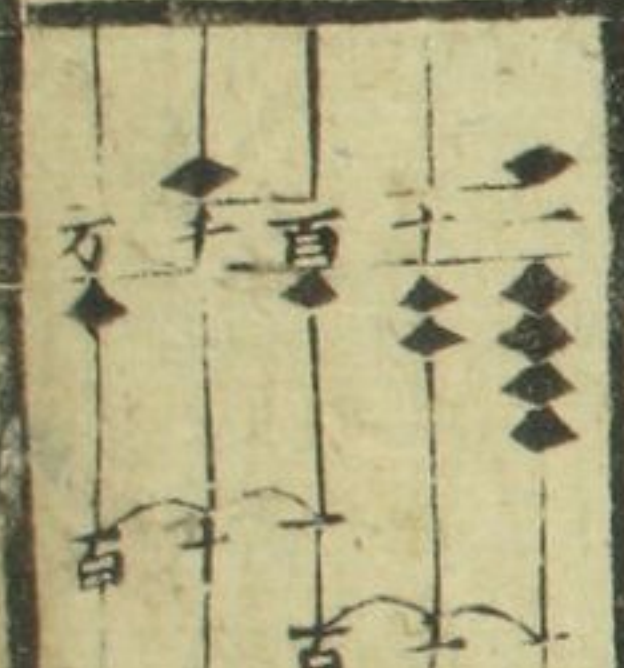
百於於三万回方

百七三万
老万冬子
九九坪
百七三万

商



実

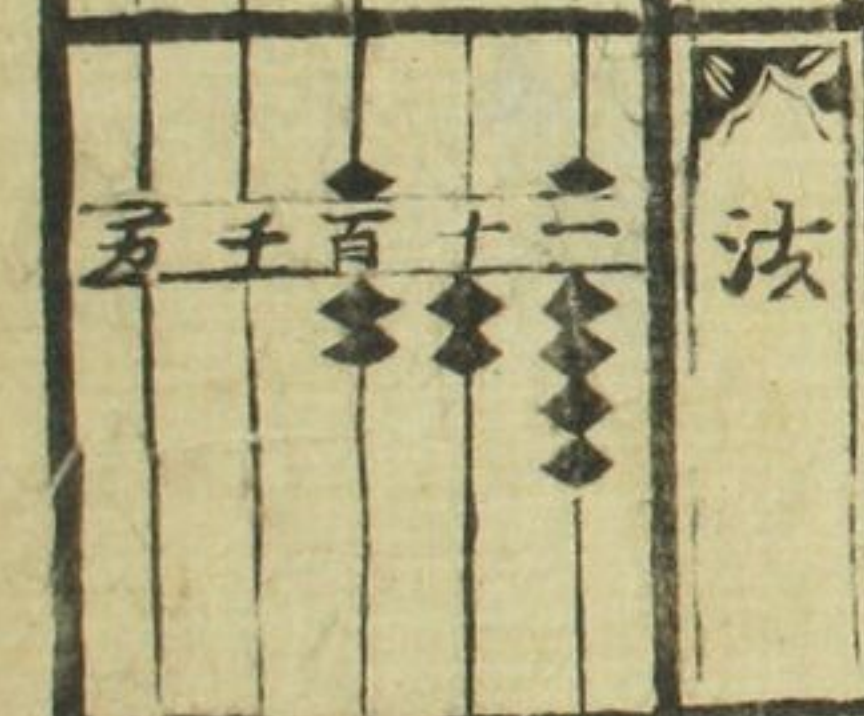
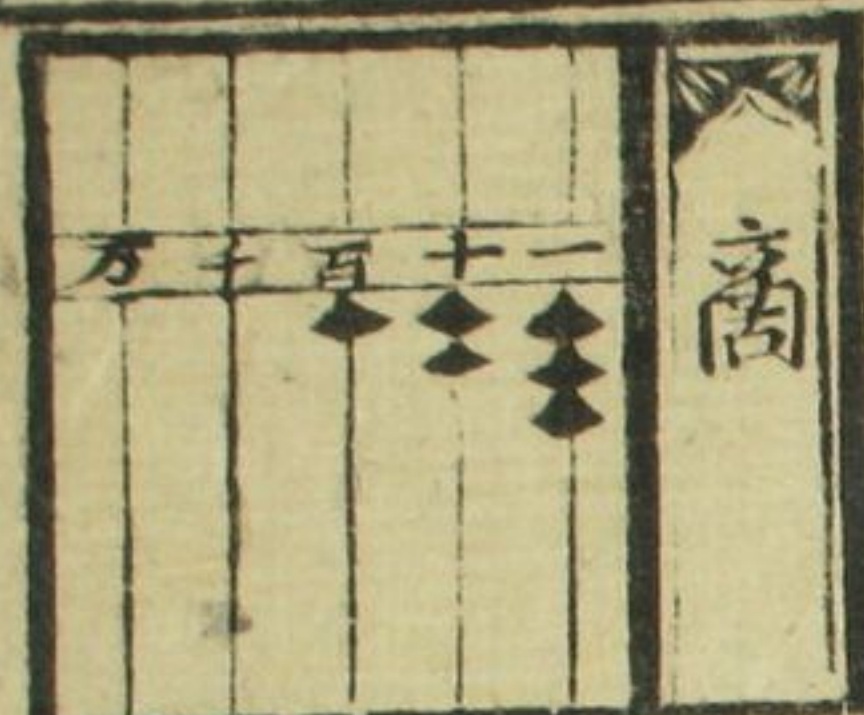


法



下

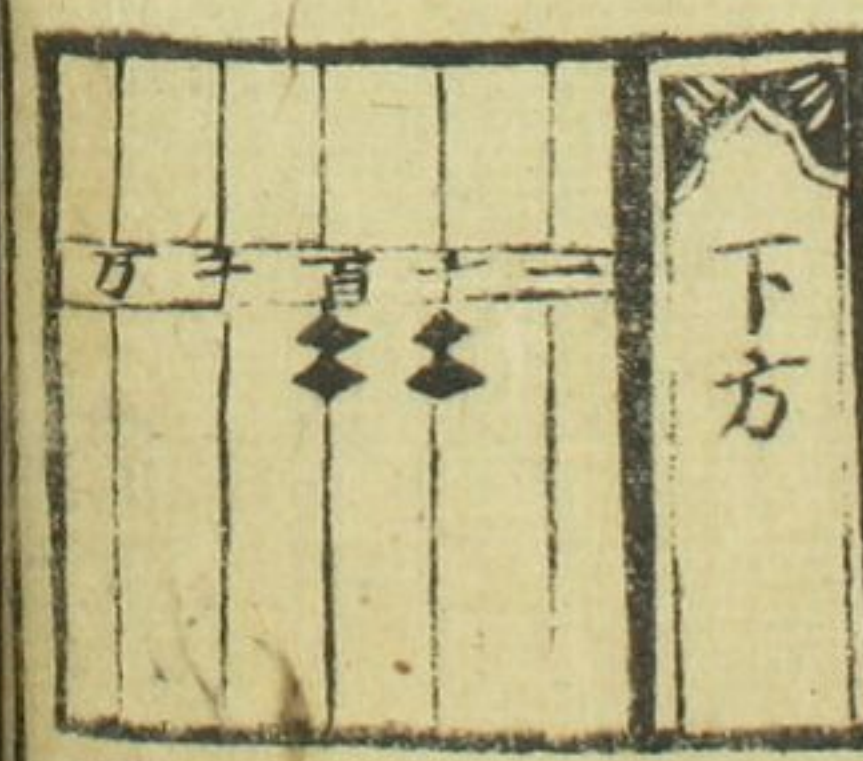
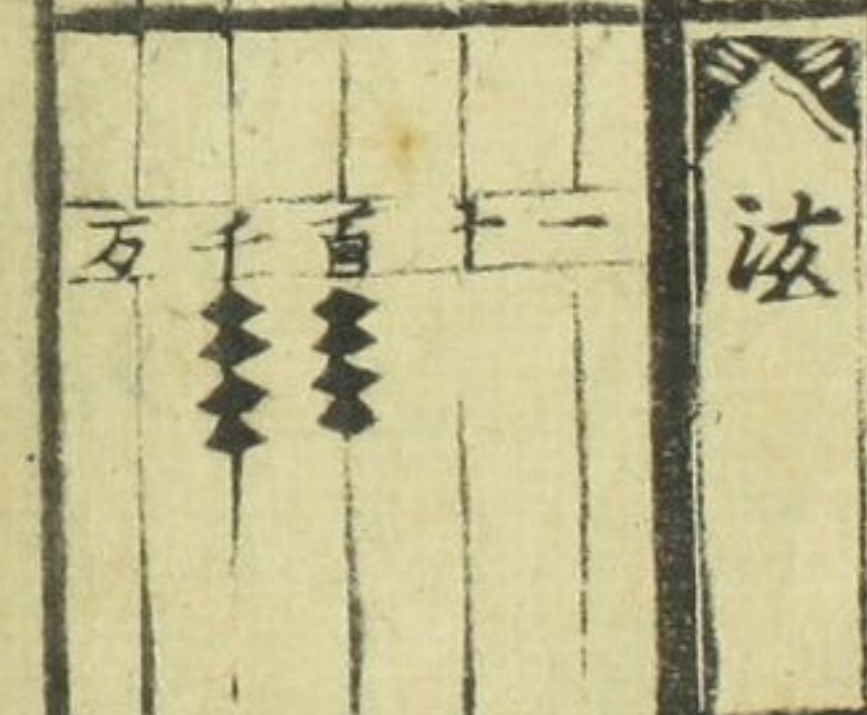
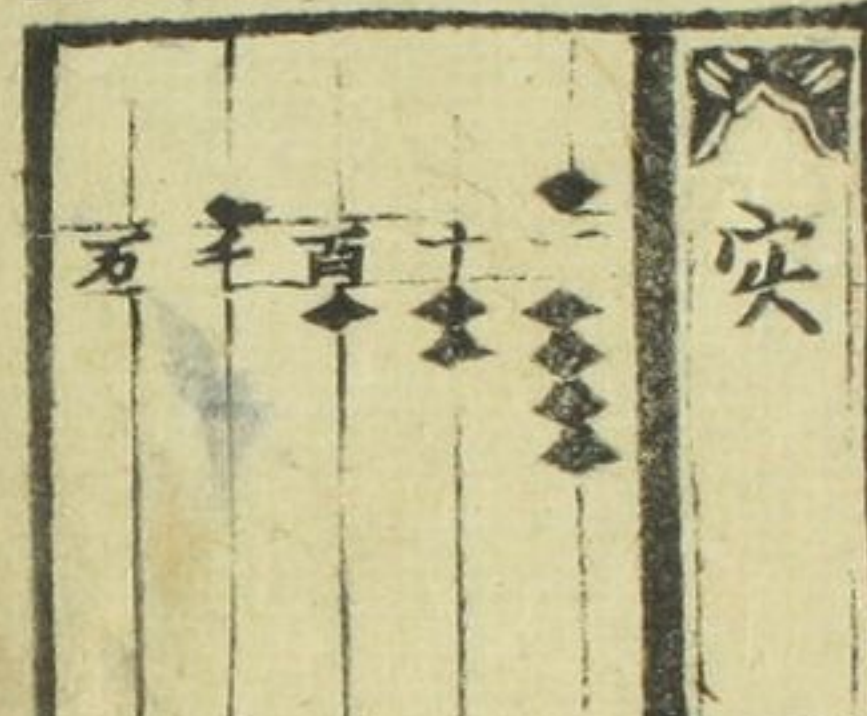
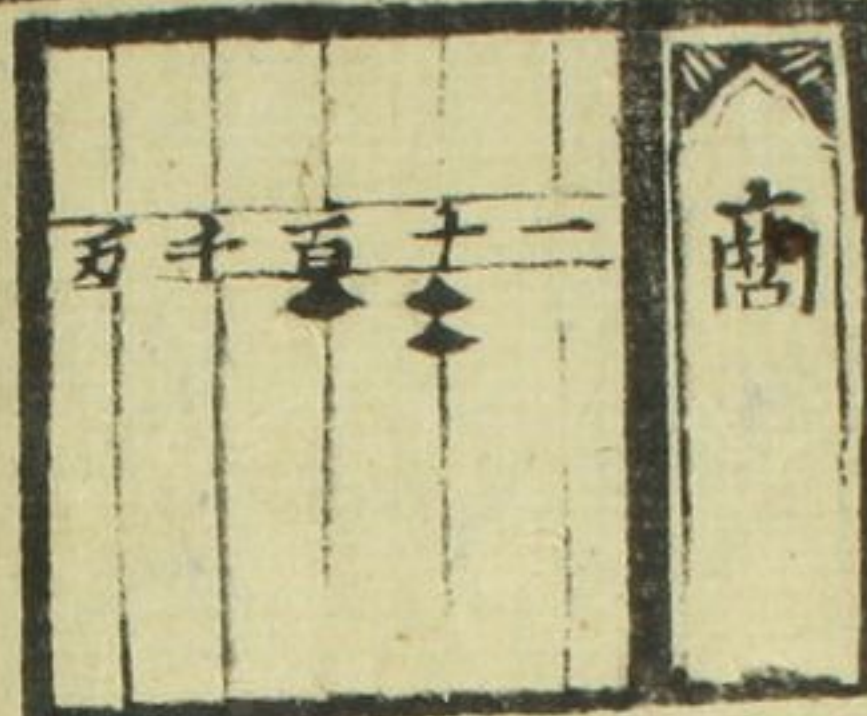




川 二十坪
 一万坪
 百
 千

高北の改り二十と密さして下法とハ
 一倍より百と二倍より千と百と百と下
 又と密さして法より百の位は高の九
 とする三三三三三の位は百の位と密さ
 して九

実より繰りて七十九坪あり



1000
 一万坪
 1000
 百

実より繰りて七十九坪あり
 繰りて七十九坪あり

七万坪

二十坪

寄付

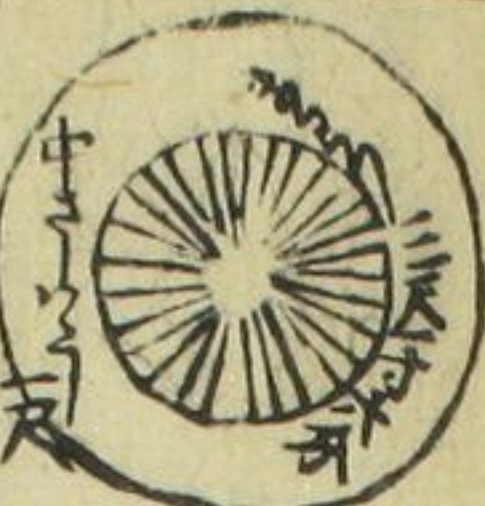
開

開平田法の事

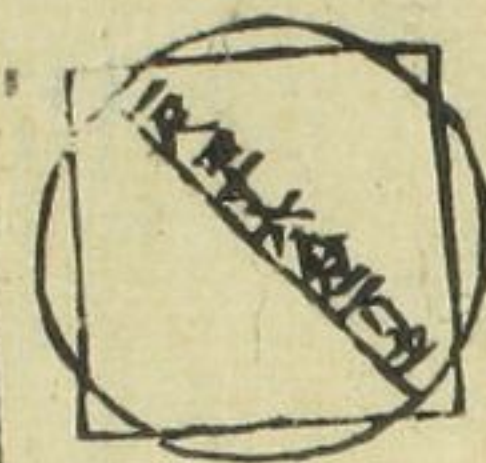


▲一寸四方坪あるひ七五坪正の時開平田法をして
 三寸四方坪あるひ七五坪正の時開平田法をして
 三尺四方坪あるひ七五坪正の時開平田法をして
 九坪あるひ七五坪正の時開平田法をして

高の三とては法より三の寸百三寸の百三三
 の九とては時法より百九坪とては九とては
 百九三万に方あり也



一又三寸



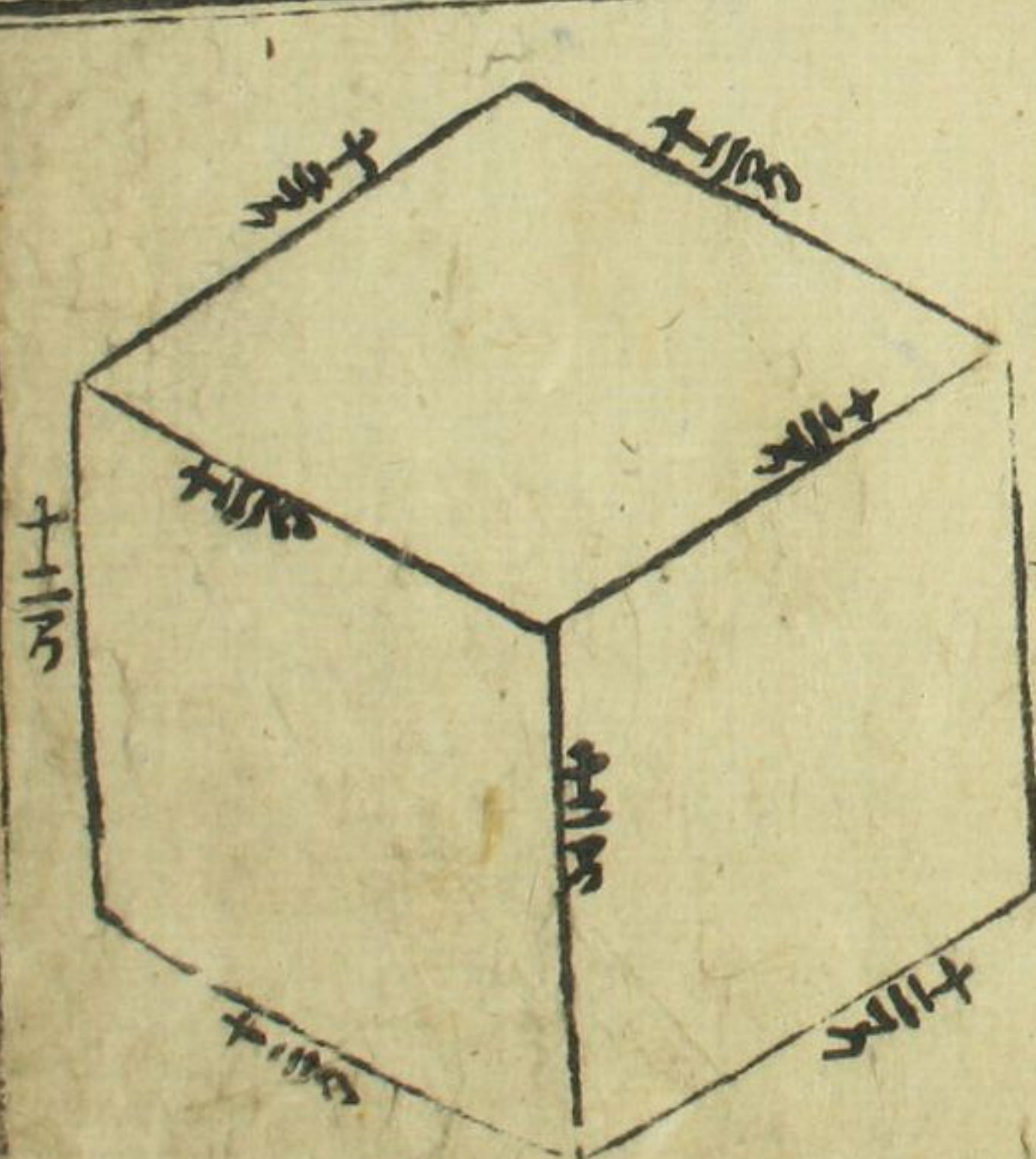
▲一尺三寸四方ありては
 一尺三寸四方ありては
 一尺三寸四方ありては
 一尺三寸四方ありては

寄付

開立法の事

▲坪敷子七五坪正
 これをたてしときた
 おおたけあり
 てあふりしとき
 りしとき

於此方六方に



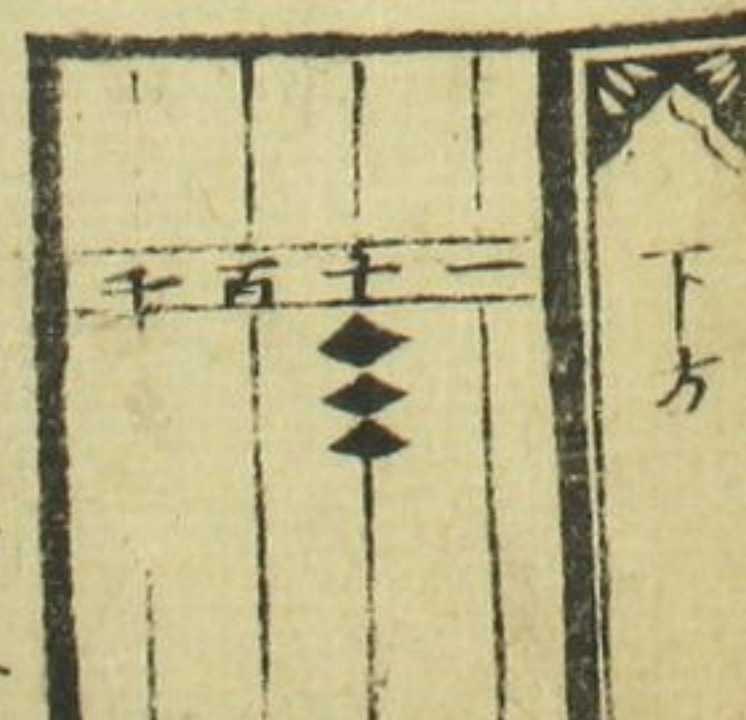
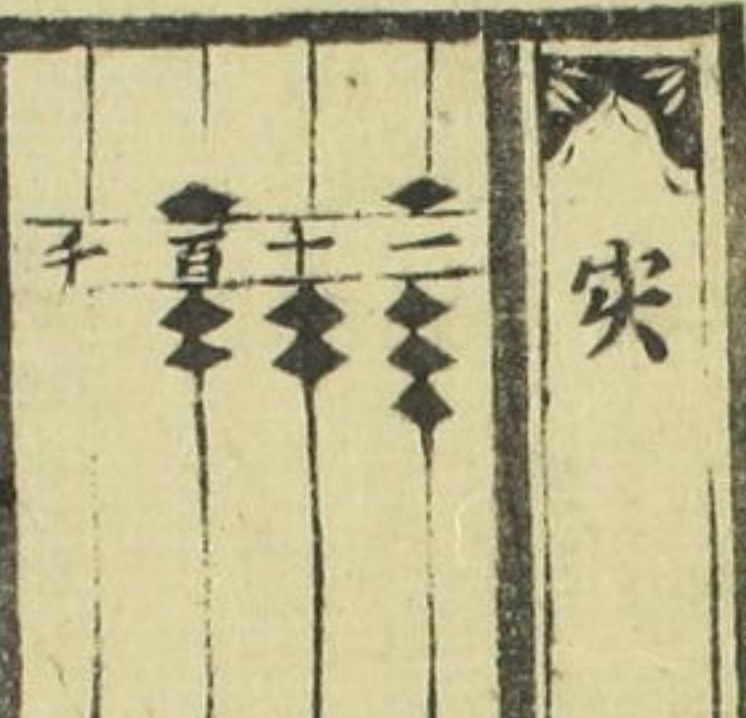
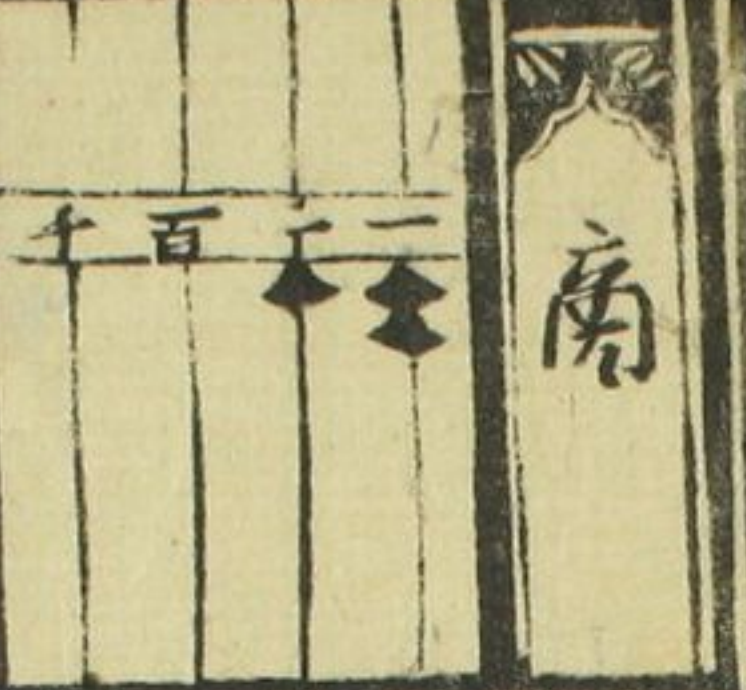
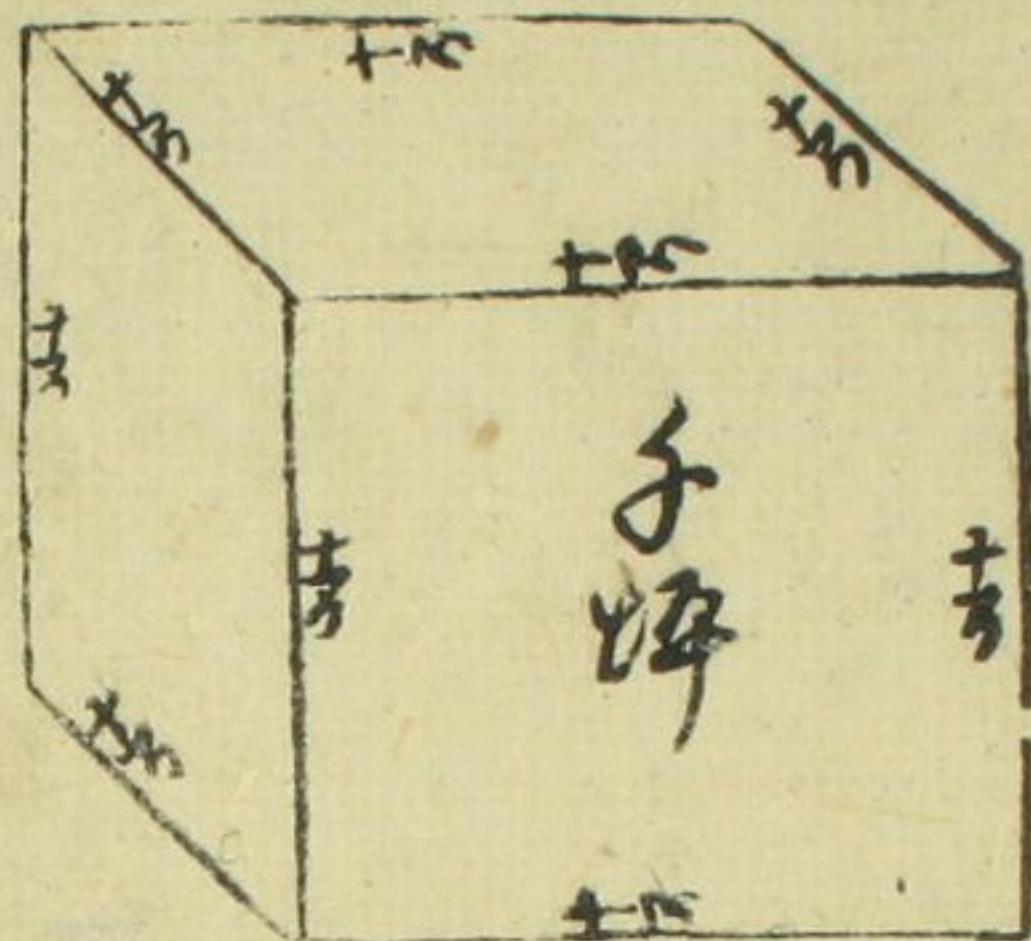
十二万

商

実

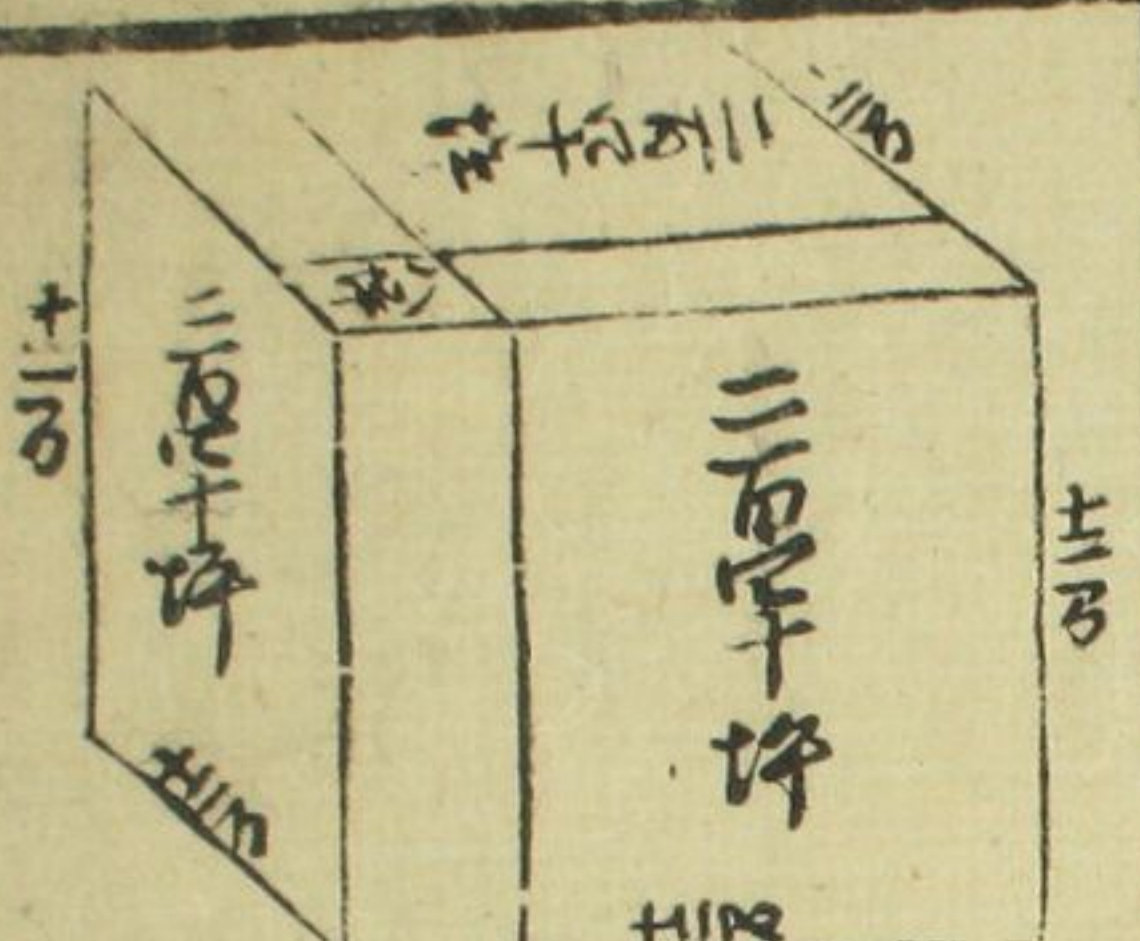
法

下方



法より小実より七百九十八
 として先算より位を定む二十二十十と定むこの
 位より小算よりあるより対より十と云ふ十の位
 先商より十と對より下方より二十とあるより十
 と定むこれ商の十よりさかたけ定むるさか
 法より下方の十に商は十なりよ也一の百
 と對より法の百より二十と定むあるより法の百
 小商の十よりさかたけ子算よりこれと定む
 て引くよりいしてこれ

引いて七百九十八あり



商の十の次より二立相下方の十と三と定むこの位を
 一位さけて又法より下方の十より商の十と定む三の位
 と法より對より法の十より十と定むさかたけ法の十
 二の位と對より法の十より十と定むさかたけ法の十
 二の位と對より法の十より十と定むさかたけ法の十
 是と定む引也。引ては法より二と定む引也。引ては
 法より商の十と定む引也。引ては法より二と定む引也。
 引ては法より商の十と定む引也。引ては法より二と定む引也。
 引ては法より商の十と定む引也。引ては法より二と定む引也。

卷之二十

欣

